

「（）でお経の出番となります。死んだ人にお経を読んであげて、あなたの未練は、たんなる欲なんだから、そんなものは捨ててしまって極楽浄土に行つてくださいね。」

と説得するわけです。

お経には

「欲を捨てなさい」

「欲がない人が最強です」

と繰り返し説かれているものが多いのです。死んだ人の魂をなぐさめて、極楽浄土に送つてあげるにはうつてつけですね。

（　　）、「お経を読んでもらえないと、極楽浄土に行くことができず、魂がこの世に残つてしまふ場合があります。

（　　）、「ありがたいお経を読んでもらつたにもかかわらず、がんこにこの世にとどまり続ける魂もあります。よほど強い未練なのでしょう。」

このようにしてこの世に残つた魂のことを、私たちは「ゆうれい」と呼びます。

お経は読んでもらえただけども、この世に魂が残る場合というのは、よほど強い思い残しがあつたに違いありません。（　　）、「ゆうれいのほとんどが

「うらめしや」

と言うのです。

何かをうらんでうらんで、死んでも死に切れないとやしい思いが、この「うらめしや」の五文字にはこめられています。

（　　）、「ゆうれいとは、何かの事情で、死んでも成仏できなかつた人の魂のことを指します。」

ゆうれいは恐ろしいものですが、実は私たちはゆうれいで楽しんでいることがあります。心霊写真を見てこわがつたり、ゆうれいの出でくるこわい話（怪談）を読んだりします。こわい話はほとんど作り話です。同じように、心霊写真も作り物です。今では、画像の加工ソフトを使えば、家でも手軽に心霊写真が作れるようになります。

その一方で　しかし　だから　このように

視写



音読

